

プログラム

◆首長フォーラム 16:15~17:30

■参加者

- 勝部 修 (一関市長)
- 遠藤 釈雄 (涌谷町長)
- 赤石澤 珍夫 (相馬市教育委員会生涯学習部長)
- 平田 良親 (南相馬市観光交流課長)
- 神谷 俊一 (千葉市長)
- 西田 三十五 (佐倉市長)
- 小坂 泰久 (酒々井町長)
- 所 一重 (多古町長)
- 岩田 利雄 (東庄町長)
- 日置 敏明 (郡上市長)
- 江里口 秀次 (小城市長)



千葉市制100周年記念

第3回 千葉氏サミット

プログラム

千葉氏クイズに挑戦! クイズに正解した方の中から抽選で千葉氏ゆかりの都市からプレゼントが当たります。

6問中、4問以上正解した方の中から抽選で、千葉氏ゆかりの都市からのプレゼントが当たります! さらに、全問正解者には抽選で50名様に千葉市制100周年記念ボールペンとクリアファイルが当たるWチャンス!

応募ハガキ記載内容

- 〒
- 住所
- 氏名
- 年齢
- クイズの答え
Q1: Q4:
Q2: Q5:
Q3: Q6:
- 千葉氏サミットをご覧になった感想や今後取り上げてほしいテーマなど(任意)

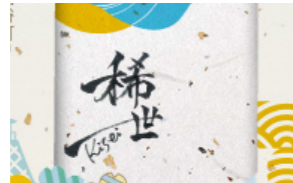
応募方法

- プログラムに折込の問題用紙に必要事項をご記入の上、会場にある「千葉氏クイズ」ボックスに投函または電子申請もしくはハガキ(右記参照)でご応募ください。
- 送り先 〒260-8722千葉市中央区千葉港1-1 千葉氏サミット実行委員会事務局(千葉市都市アイデンティティ推進課)
- メ切 2021年9月6日(ハガキの場合は消印有効)
- 当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

プレゼント一例(写真はイメージです)



東庄町 東庄町産SPF豚肉加工品セット



涌谷町 純米大吟醸「稀世」



千葉市 月星餅どら



電子申請
二次元コード



開催日:令和3年8月21日(土)
会場:三井ガーデンホテル千葉

千葉市制100周年記念 第3回千葉氏サミット開催にあたって



千葉氏サミット実行委員会名誉会長

千葉市長 神谷 俊一

千葉市が市制100周年を迎えたこの大きな節目に、第3回千葉氏サミットを開催できますこと、心より感謝申し上げます。

今回は、「千葉氏が生きた中世のまち・暮らし」をメインテーマに東京大学名誉教授の保立道久先生による基調講演と、有識者の皆様によるパネルディスカッション、さらに各都市間の連携を深めることを目的に首長フォーラムを開催いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今回は新たな試みとして首長フォーラムをオンライン会議とするとともに、すべてのプログラムをWEB上でライブ配信いたしますので、幅広い年齢層の方々に、ご自宅等で臨場感あふれる配信をお楽しみいただければ幸いです。

このサミットが、多くの皆様にとりまして、千葉氏の歴史・文化への関心や理解を深める機会となり、我がまちへの愛着が育まれることを期待しております。

結びに、第3回千葉氏サミットの開催にあたり、これまでに引き続きお力添えを賜りました全国の千葉氏ゆかりの都市の皆さまに敬意を表しますとともに、ご参加いただいた皆さまのご活躍、ご健勝を心からお祈りいたします。



千葉氏サミット実行委員会委員長

千葉 滋胤

今年は千葉市が市となりまして100周年であります。これを記念しまして第3回「千葉氏サミット」が開催に至りました。先の大戦を経験して来た者と致しまして感慨一入であります。

今はまた新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により非日常を余儀なくされておりますが、まちの歴史というものは、そこに住む人々が暮らしをつむぎ続けてきた証であります。

千葉市は千葉常重・常胤父子の開府から数えれば895年目になります。この間いくつの戦火、疫病、災害を潜り抜けて今につながってきたことでしょう。

過去に思いを馳せ、未来に夢を描くことは街として大切なものと思います。コロナ禍で多くの人が一堂に会しての開催ができないことは残念ではありますが、同じ祖を持つ日本中の都市が同時に過去に思いを馳せ、未来を語り合えることは誠に大切な機会であろうと思います。来る5年後の開府900年に向け「第3回千葉氏サミット」が意義深いものとなります様願ってやみません。

プログラム

◆開演 13:00 ◆基調講演 13:15～14:15

テーマ：千葉常胤と鎌倉時代の千葉の町・村



講師 保立 道久 氏
(東京大学名誉教授)

千葉常胤は源頼朝の挙兵を成功に導いた武士で、『吾妻鏡』には頼朝が常胤を「父」と仰ぐと述べたとあります。これは実際のことで、常胤は猜疑心の強い頼朝の下で千葉氏の位置を守った重々しく慎重な人物でした。

講演では、まずこのことに触れた上で、それを支えたのは平安時代末期から鎌倉時代の千葉の町と村の豊かさと活発さであったことを説明します。町については、当時の都市計画を説明し、「胡蝶」という名の千葉氏に仕えた女性の文書、村については寺山郷（千葉市若葉区東寺山町・源町付近）の文書などを取り上げます。

◆パネルディスカッション 14:30～15:45

テーマ：千葉氏が生きた中世のまちと人々の暮らし

コーディネーター



遠山 成一 氏
(千葉市立郷土博物館研究員、
東金市文化財審議会会長)

パネリスト



古庄 秀樹 氏
(佐賀県小城市教育委員会
文化課学芸員)



馬淵 和雄 氏
(一般社団法人 鎌倉・中世
文化研究センター理事)



外山 信司 氏
(千葉市立郷土博物館
総括主任研究員)

中世の武士と言えば、「草深い農村に土着した、質実剛健な在地領主」というイメージで語られ、千葉常胤はその代表とされてきました。しかし、近年の研究結果から鎌倉時代の千葉氏当主や有力な一族は鎌倉に住み、京都に屋敷を構え、北は東北から南は九州まで各地に所領を持って広範に移動する、日本列島規模のネットワークを有する都市的な存在であったことが分かってきました。下総千葉氏の本拠であった千葉、肥前千葉氏の本拠小城（佐賀県）、そして「武家の都」鎌倉の事例から、千葉氏ゆかりのまちと暮らしについて紹介します。

千葉氏のことをもっと知りたい方にお勧めの書籍



日本史を駆け抜けた月星の武士たち
千葉一族入門辞典
出版:株式会社啓文社書房
価格:1,980円(税込み)

千葉氏の歴史や文化をわかりやすく解説した入門書。千葉氏900年の歴史が詰まった1冊。お求めは、書店にお問い合わせください。



マンガ「千葉常胤公ものがたり」
出版:千葉市教育委員会
価格:180円(税込み)

源頼朝を助け、鎌倉幕府の成立に貢献した千葉氏中興の祖・千葉常胤の活躍を描く。千葉市市政情報室または千葉市立郷土博物館で販売中。